



Science Workshop 2013/5/24

宮田隆志（東京大学天文学教育研究センター）

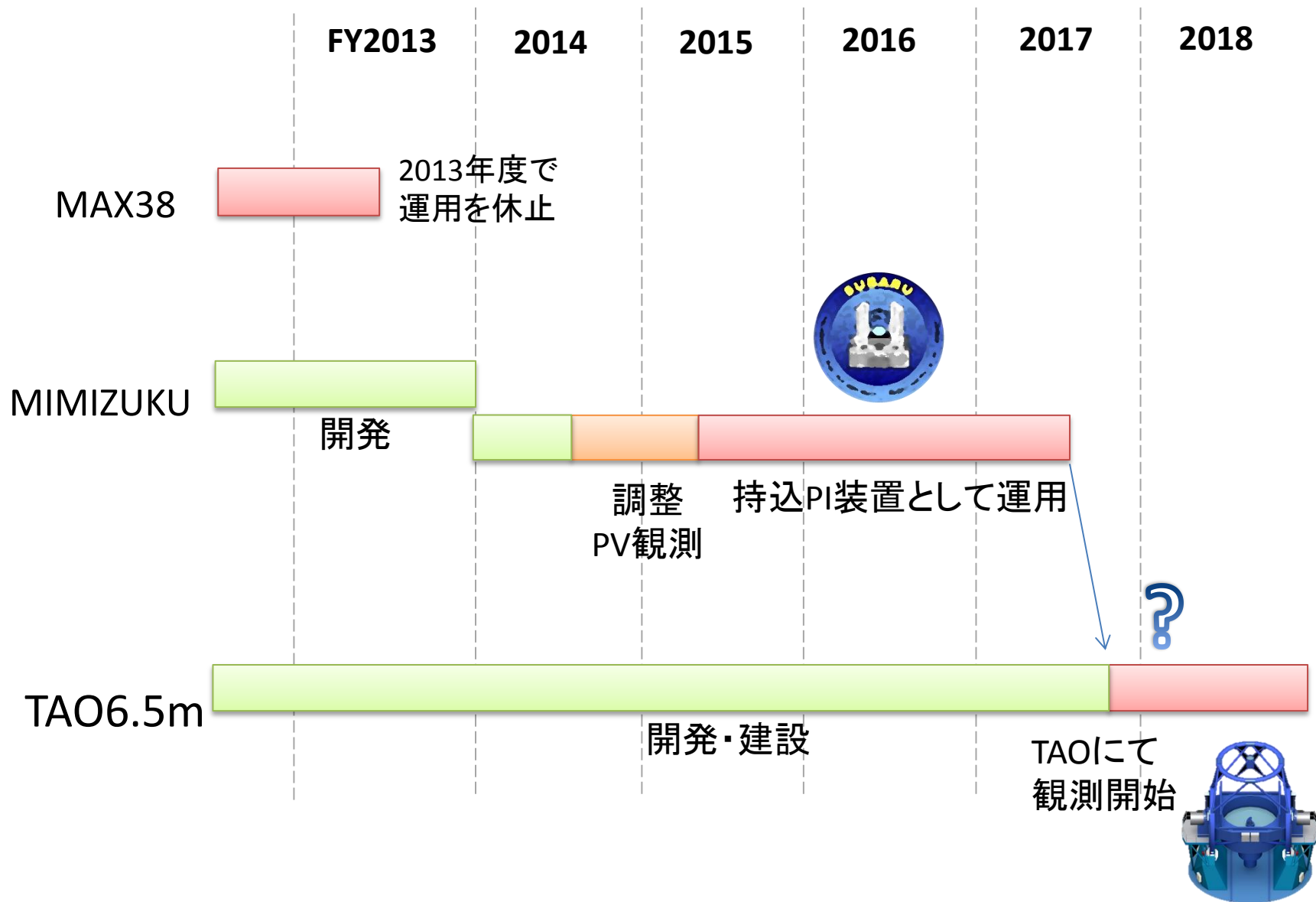


MIMIZUKUをめぐる背景

- ✓ 1998年 TAO 6.5m望遠鏡計画スタート
- ✓ ~2009年 1m用装置MAX38の開発
※2009/11に30umファーストライト
- ✓ 2009年 装置開発費が補正予算により措置
→ MIMIZUKU開発が本格化
- ✓ 2012年11月 すばる持ち込装置proposal提出
- ✓ 2013年 2月 6.5m望遠鏡予算が補正予算で措置



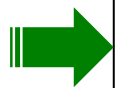
スケジュール



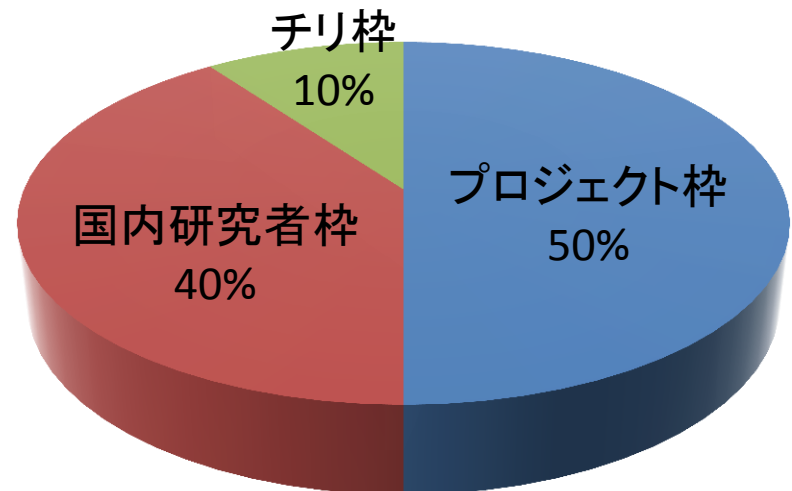


TAOの時間利用

- 50%をTAOプロジェクト枠として大型観測に割り当て
- 10%はチリ枠
- 40%は全国の大学向けにオープンとする
 - 国立天文台と共通のプログラム委員会の設置を検討
- TAOプロジェクト枠をふくめ、全国の大学院生の学位のための観測を優先



- 若手にも観測の機会を提供
- すばるだけでは捌き切れない広いニーズの受け皿に





ワークショップの目的

- ✓ すばる望遠鏡での観測に向けたサイエンスの検討
 - 良い観測で科学的成果を
 - TAOでの継続的な観測に向けた準備
 - 共同した観測提案の策定???
- ✓ TAO望遠鏡での観測に向けたサイエンスの検討
 - 柱となるテーマは何か？
 - 装置仕様へのフィードバックは？